

講義コード	25468017
担当者	藤井和夫教授
研究題目	歴史的視点から見るグローバル経済社会

ゼミの目的 好むと好まざるとにかかわらず、われわれはグローバル社会の中で生きています。変化する社会をしっかりと観察すると同時に、移り変わる世の中で考えるべきこと、行動すべきことを見定めなければなりません。そのために、ものを考えるために必要な知識や情報、世界を見るための基本的な視点、そして自分自身のしっかりした立ち位置の確認を行う必要があります。

ゼミの目標は、そのための基礎的な力を身につけることです。グローバルな社会の様々な問題に関心を持ち、学部で学ぶ知識を自分で使いこなせるものに仕上げて行動につなげます。知的な力を身につけ、自発的に行動することは楽ではありませんが、仲間とともに学んでみれば面白いことは山ほどあります。このゼミで世界の問題に目を開き、加えて「歴史的アプローチ」を学ぶことで、さらに広い視野と人間や社会の個性にまで踏み込んだ深い洞察力を磨いてください。

ゼミの内容 ゼミでは、世界のできごとへの関心を高めること、表現力やコミュニケーション能力を高めること、そして自分でものを考え発言することを実践します。研究演習入門ではテキストによる基礎的な研究を、研究演習Ⅰではテーマを定めたグループ研究と様々なディベートを、そして研究演習Ⅱではそれぞれのテーマで個人研究を行い卒業論文（テーマは広い意味で経済史的なものであれば自由）をまとめます。ゼミのイベントとしては、希望者による海外研修、学内外のゼミとのディベート（年数回）やゼミ合宿（年数回）、コンパ（年数回）、スポーツのほか、いろいろな企画が自主的に行われます。

ゼミの方針 勉強やイベントのすべてを通して個人の力を高めるために、自発的な活動と、生きたコミュニケーションこそ、ゼミの命です。ゼミでは、積極的に①テーマをもち、②本を読み、③意見を交わして、④何でも自分で企画・実行すること、が求められます。他人任せの人、自分勝手にしたい人には、向いていないゼミです。ゼミで何かをしてみたい人、ゼミ内外のコミュニケーションの中で自分の力を伸ばしたい人、いっしょに意欲あふれるゼミをつくって、充実した大学生活を体験しましょう。

受け入れ条件		必ず説明会に出席して「志望理由書」を受け取ってください。
担当者のプロフィール	専攻	経済史、経営史
	現在の研究テーマ	近代以降のヨーロッパ（とくにポーランド）経済史、経営史
	所属学会	社会経済史学会、経営史学会